予	9	款	消防費	総 第 4 早	安心して健やかに せるまち	暮ら 復	()						
算 科	1	項	消防費	合 第6節	日常の身近な安全 高める	計	()						
目	3	目	消防施設費		肖防・救急救助を する	充実	()						
	₹施計値 載ペー		P 98	中事業	消防施設関係費								
事	業コー	۴	004-006-002-00629	事 業 名	耐震性貯水槽整備	事業							
目的及	なび事業	美内容	火災発生時における制 安全・安心な生活の確保				を備すること	:により、地域住	民の				
			火災時の重要施設である 基整備した。	ある消防水利の充	実強化として、耐	震性に優れた	:貯水槽を更	〔新計画に基づき	. 4				
				=n. 99. Arr =r		=n. co. ++ +/-	m =	マケ					
1			法阿宁土止土	設置箇所		設置基数	容量	予算					
l			流留字中地内 福地字畠中地区			1基	40 m	H 29繰越					
取糸	組実	績	10 - 1 - 1 - 1			0.#	403						
1				山地内(牡鹿地区)		3基	40 m	H30現年					
l			則谷地子黑沢丽	前地内(河南地区)									
			無水利地域へ耐震性則充実、強化が図られた。		ことにより、地域	住民の安全・	安心な生活	5の確保と消防施	設の				
			区分	予算	成果指4	票 実績等	達成率等						
			H28	H27繰越 H28現年	- 4基	_ 1基	25	5%					
			H29	H28繰越	=	_	7!	5%					
i				H29現年	4基	3基							
成		果	H30	H 29繰越	1基	1基	80	0%					
130		^	1100	H30現年	4基	3基	00	570					
			平成30年度は、平成29年度繰越分を含め新たに4基を整備完了し、令和元年度へ1基を繰り越した。										
成果(に係る	評価	平成30年度は平成29年 繰り越しとなった。 現在市内全体の耐震性 83%と全域に比べ低いる がある。	生貯水槽の充足率	は105. 7%となっ ⁻	ているが、河	南地区が約	79%、桃生地区だて整備を進める必	が約 必要				
					_			(単位	: 円)				
			予算額	決算額		決算額	の財源内訳						
予算の	の執行	状況	7 升取	八	国(県)支出金	地方債	その	他 一般財	源				

予	9	款	消防費		安心して健やかに せるまち	暮ら復し	()		
, 算 科	1	項	消防費	合 第6節	∃常の身近な安全 高める		()		
Ħ	3	目	消防施設費	画(2)	肖防・救急救助を する	ida	()		
	 施計画 載ペー:		P98	中事業	肖防施設関係費	<u> </u>		•	
事	業コー	۲	004-006-002-00627	事 業 名	肖防団ポンプ置場	整備事業			
的及	ひ事業	内容	消防団の活動拠点と 確保を図る。	して、消防団ポン	ブ置場を整備し、	地区住民の安	(全で安)	心して生活	舌できる環境の
			既存の消防団ポンプ	置場の老朽化に伴	い、更新計画に基	よづき消防団 オ	ポンプ置り	場を3棟新	築した。
			ポンプ置	場名称	事業内容	延床面積	詰所]	
			石巻地区団五軒屋敷	数班(恵み野班) :	木造2階建て	67. 89	m ⁱ 有		
取	組実	績	河北地区団成田班	;	木造2階建て	66. 24	m ⁱ 有		
			雄勝地区団桑浜班	;	木造平屋建て	28. 98	m ⁱ 無		
			消防団ポンプ置場を 活できる環境の確保が 区分		り、当該地区の消 成果指 目標値			住民の安全 注案等	きで安心して生
			H29	H 29現年	1棟	1棟		100%	
			H30	H30現年	3棟	3棟		100%	
成		果							
成果 	に係るi	評価	平成30年度は、3棟4 何年、2棟程度の更新 進む蛇田恵み野地区に を図った。 今後も地域の実情を	新整備計画としてい 新たに恵み野班ポ	へるが、平成30年月 ンプ置場1棟を整備	備し、地域住	民が安全	に生活で	きる環境確保
									(単位:円)
- ···	a +1 /= :	h >=	予算額	決算額		決算額 -	の財源内	小訳	
予算	の執行権	大況	/		国(県)支出金	地方債	₹	その他	一般財源
			57, 600, 000	49, 333, 32	20	47, 500, 0	00		1, 833, 320

予	9	款	消防費	第 4 章	安心して せるまち	健やかに乳	暮ら復	()		
算科	1	項	消防費	合 第6節	日常の身	近な安全性	性を興計	()		
目	3	目	消防施設費	画 (2)	消防・救 する	急救助を3	充実 画	()		
	施計画 載ペー		P 98	中 事 業	消防自動	車関係費				
事第	業コー	ド	004-006-002-00628	事 業 名	非常備消					
目的及	び事業	其内容	経年劣化した非常備活地域住民が安全で安心し				防設備の充	美と地域	薬消防力の)	可上を推進し、
			消防団消防自動車更新	断計画に基づき	、消防自動	車6台と訓	∥練用資機材	車1台を	を整備した。	,
			車種		台数		配備	班		
			消防ポンプ			石巻地区[1 .
			7,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1		1 1	万 类 州 区 「	闭边津班			1
						在巻地区[雄勝地区[田立治班			1
			小型動力ポンプ	プ付積載車	4台	雄勝地区	四五洪班			_
取糸	組実	結			1 1	河 河 四 区	凹新田班			
		120					団大谷川班			_
			小型動力ポンプ	付軽積載車		河北地区				
			訓練用資格	機材車	1台	石巻地区[団中央班			
			老朽化した非常備消収							
			老朽化した非常備消間が促進された。また平月の充実強化が図られた。	成30年度では訓						
			が促進された。また平原	成30年度では訓	練用の資機	材車を整備				
			が促進された。また平原の充実強化が図られた。	成30年度では訓 成果指	練用の資機 i標 実績等	材車を整備	備し、地域			
成		果	が促進された。また平原の充実強化が図られた。	成果指 目標値	練用の資機 i標 実績等 7	材車を整備を整備を整備を	備し、地域 ・成率等			
成		果	が促進された。また平F の充実強化が図られた。 区分 H29 H30	成果指 成果指 目標値 7台 7台	練用の資機 標 実績等 7 7	村車を整達	備し、地域 成率等 100% 100%	肖防力 <i>0</i>	D 向上が推	進され、消防力
	こ係る		が促進された。また平原の充実強化が図られた。 区分 H29	成 (表現) (表現) (表知) (表現) (表知) (練用の資機構 実積等 7 7 7 3 カの生	村車を整達 産 の 進産 の 進産 の 進産 の がと 財 から と か	備し、地域注 成率等 100% 100% 100%	消防力の 自動車 はままま 安全にき	の 更 新 を 進 き き だ た が き き に た の に た の に に に に に に に に に に に に に	進され、消防力 を全ての配 る環境の確保を 必要がある。
	こ係る		が促進された。また平原の充実強化が図られた。 区分 H29 H30 平成30年度は消防団流 (構が完了した。また、訓情機に、大災等を発展した。また、訓練用資機状に、大災等を発展した。また、記録を表した。また、記録を表した。また、記録を表した。また、記録を表した。 また いっぱい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい	成 (表現) (表現) (表知) (表現) (表知) (練用の資機構 実積等 7 7 7 3 カの生	村車を整達 産 の 進産 の 進産 の 進産 の がと 財 から と か	備し、地域注 成率等 100% 100% 100%	消防力の 自動車 はままま 安全にき	の 更 新 を 進 き き だ た が き き に た の に た の に に に に に に に に に に に に に	進され、消防力 を全ての配 る環境の確保を
成果に		評価	が促進された。また平原の充実強化が図られた。 区分 日29 日30 日末 日本	成 (表現) (表現) (表知) (練用の資機構 実積等 7 7 7 3 カの生	村車を整達 産 の 進産 の 進産 の 進産 の がと 財 から と か	備し、地域注 成率等 100% 100% 100% された。し、、」 さを保護づき、、」	消防力の 自動車 はままま 安全にき	の更新を進きまできる。	進され、消防力 を全ての配 る環境の確保を 必要がある。
成果に	こ係るの執行	評価	が促進された。また平原の充実強化が図られた。 区分 H29 H30 平成30年度は消防団流 (構が完了した。また、訓情機に、大災等を発展した。また、訓練用資機状に、大災等を発展した。また、記録を表した。また、記録を表した。また、記録を表した。また、記録を表した。 また いっぱい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい	成 (表現) (表現) (表知) (表現) (表知) (練用の で 標 標 で に は に は に は に は に は に は に は に に は に に に に に に に に に に に に に	村車を整達 産 の 進産 の 進産 の 進産 の がと 財 から と か	備し、地域注 成率等 100% 100% 100% された。し、、」 さを保護づき、、」	消防力 <i>0</i> 動動車 全次整順次	の更新を進きまできる。	進され、消防力 を全ての配 る環境の確保を 必要がある。

予	9	款	消防費		心して健やかに るまち	暮ら	()	
算 科	1	項	消防費	合 第6節 高	常の身近な安全 める	性を手	+ ()	
目	5	目	災害対策費		全・安心な暮ら 保する	しを	()	
	E施計画 載ペー		P99	中 事 業 危	機対策費				
事	業コー	۲	004-006-003-01129	事業名ハ	ザードマップ(土砂災害)作成事	業	
目的及	なび事業	(内容	住民に対して、土砂:協働して土砂災害ハザーウなげる。						図るため、住民と市が も有し、円滑な避難に
取;	組実	績	住民と市が協働して: 1 住民説明会の実施 (1)地区代表者への訪 (2)地区住民への説明 (3)地区代表者と校正 2 平成30年度土砂災害 河北地区:警戒区域	説明(事業概要及び作 日(事業概要の説明、 確認 に確認	⊧成要領の説明、 マップ案の提≉	マップ簿	案の提示)	
			土砂災害ハザードマ れ、住民の防災意識の 平成29年度から、地 説明会の日程調整等に	高揚が図られた。 区内のすべての区域	指定が完了した				
				Б	以 果指標				1
			区分	警戒区域指定数	成果指標 □ 作成済警戒	艾区域数	達成	艾率	・ ケ度毎の達成率
			区分 H18~H26			ゼ区域数 -	達成	戈率	年度毎の達成率 は、年度毎の作成済 警戒区域数から、そ
成		果			作成済警戒	龙区域数 - 25		-	は、年度毎の作成済 警戒区域数から、そ の年度での未作成警 戒区域数を除したも
成		果	H18~H26		66	-		-	は、年度毎の作成済 警戒区域数から、そ の年度での未作成警 戒区域数を除したも
成		果	H18~H26	警戒区域指定数	作成済警戒 66 30	- 25		26. 0%	は、年度毎の作成済警戒区域数から、その年度での未作成警戒区域数を除したもの。
成		果	H18~ H26 H27 H28	警戒区域指定数	作成済警戒 66 30	- 25 52		26. 0% 65. 0%	は、年度毎の作成済 警戒区域数から、そ の年度での本作成警 戒区域数を除したも の。
成		果	H18~H26 H27 H28 H29	警戒区域指定数	作成済警戒 66 30 9	- 25 52 7		26. 0% 65. 0% 2. 3%	は、年度毎の作成済警戒区域数本作成で、その年度で数から、作成を 成区域数を除したもの。
	に係る		H18~H26 H27 H28 H29 H30	警戒区域指定数 警戒区域指定数 でに土砂災害警戒に ードマップを作成し いザードマップンプン	作成済警戒 66 30 9 272 290 567 玄域を毎年指定を必要が ジステムを構築	- 25 52 7 4 88	こめ、 原 29 更 か も 年 が 年 の 年 の も の も の も り も り も り も り も り も り も り も	26.0% 65.0% 2.3% 0.7% 13.2% の指指指	は、
	に係る		H18~H26 H27 H28 H29 H30 合計 宮城県が令和4年度ま 継続して土砂災害ハザ・	警戒区域指定数 警戒区域指定数 でに土砂災害警戒に ードマップを作成し いザードマップンプン	作成済警戒 66 30 9 272 290 567 玄域を毎年指定を必要が ジステムを構築	- 25 52 7 4 88 88 していマが からし、定し、 にし、 にし、 にし、 にし、 にし、 に し、 に し、 に し、	こめ、県 f 29 新の の 即 印刷 物	26.0% 65.0% 2.3% 0.7% 13.2% の指指、戸面	は、、
成果	に係る	評価	H18~H26 H27 H28 H29 H30 合計 宮城県が令和4年度ま 継続して土砂災害ハザ・	警戒区域指定数 警戒区域指定数 でに土砂災害警戒に ードマップを作成し いザードマップンプン	作成済警戒 66 30 9 272 290 367 3域を毎年年第 290 367 3域を毎年年期 3でレステースを域をを 3でレステースを 3でレステースを 3では、 3では、 3では、 3では、 3では、 3では、 3では、 3では、	- 25 52 7 4 88 88 していマ成カ 成立る。 に掲載した	こめ、県 29 年 の a の p 目	- 26.0% 65.0% 65.0% 2.3% 0.7% 13.2% のら指定 元素 ののよう ののよう ののよう ののよう ののよう ののよう ののよう ののよ	は、、
成果		評価	H18~H26 H27 H28 H29 H30 合計 宮城県が令和4年度ま継続して土砂災害ハザ(伴い、洪水を合わせた。	警戒区域指定数 でに土砂災害警戒 ードマップマケで成し ハザードマップス にするほか、作成時	作成済警戒 66 30 9 272 290 567 玄域を毎年指定を必要が ジステムを構築	- 25 52 7 4 88 88 していマが からし、定し、 にし、 にし、 にし、 にし、 にし、 に し、 に し、 に し、	こめ、県 29 年 の a の p 目	26.0% 65.0% 2.3% 0.7% 13.2% の指指、戸面	は、、

9 款 消防費 総 合 1 項 消防費	第章													
算 1 項 当吐弗 合	212		復	()										
科 「児 ^{神 神} 計	第二節		興計	()										
国 5 目 災害対策費	()		画	()										
実施計画 中 調 中 調 中 調 中 調 中 調 中 調 中 調 中 調 中 調 中	事 業	屋内退避施設確保事	事業費											
事業コード事	事 業 名 原子力災害対策事業(放射線防護対策事業) 「態時において、即時避難が困難な要配慮者等が一時的に退避する施設の放射線防護対策													
原子力緊急事態時において、 強化として、施設内部への放射 目的及び事業内容 平成26年度に改修した4施設に 調査及び設計を実施した。 1 石巻市屋内退避施設電源多 (1) 対象施設	性物質)侵入を防ぐための! 、電源多重化工事を	屋内退避施	設確保事	業を実施で	する。								
取 組 実 績 網地島開発総合センター (2) 工事概要 陽圧化等に係る電源につ 2 石巻市立牡鹿病院屋内退避 令和元年度の改修工事に向	ついて、 施設改 け、施	当初自家発電機のみ 調査基本計画・実施 との調査及び設計を	∗だったが、 施設計 実施した。	新たに商	5用電源に	接続した。								
電源多重化工事を実施した結果、停電していない場合であっても施設の商用電源を使用して陽圧化できるようになり、屋内退避施設における安全性の向上が図られた。また、令和元年度の改修工事に向け、牡鹿病院屋内退避施設改修の調査・設計を実施した。 1 【屋内退避施設電源多重化実施設計・工事】														
		ヨ」・エ爭』 代島開発総合センター┛タ	牡鹿保健福祉	Lセンター	寄發	 後小学校								
所在地 長渡浜杉13-8	_	代浜字仁斗田143	鮎川浜清			毛五梅沢24								
延床面積 649㎡		1, 048m²	2, 510)mi̇̃	415m ()	屋内運動場)								
防護区画 集会室 (2 F)	\	大集会室(1F)	研修室・	診療室	屋内	N運動場								
	,	八米云王(17)	(出入口にエア	ドーム設置)	(エアド	ームを設置)								
防護面積 223 m ²		264m ²	144r	ที่	1	52m ²								
収容人数 90人		90人	60)			70人								
成 果 竣工 H27.3		H27. 3	H27.			127. 3								
事業費	17, 27	280円(実施設計業	務委託料、	工事請負	l 費)									
2 【屋内退避施設改修に係る	る調査者				7									
項目		牡鹿病院 鮎川浜清崎山7			4									
所在地 延床面積		3.588㎡			4									
連床面積	1.				1									
防護面積	- 1	2階(厨房等除く) 約3,100㎡			+									
収容人数		125人			†									
竣工		R2. 3予定			1									
	調査基	計画業務及び実施	設計業務委	託料等)	1									
原子力災害時における安全性 める必要があり、令和元年度に 修工事の実施に向け検討する必 成果に係る評価	牡鹿病	是内退避施設改修												
		(単位:円												
	算額		決算客	頭の財源区	为訳									
予管類 沖	7F 1176	国(県)支出金 地方債			その他 一般財源									
予算の執行状況		国(県)支出金	地方債	- 7	その他	一般財源								

予		9	款	消防費	総	第	章				復	(1)	みんなで いまちづ	築く災害に強 くり
算 科		1	項	消防費	合計	第	節				興計	(1)	新たな防	災体制の構築
目		6	目	東日本大震災関係費	画	()				画	(2)	情報伝達	手段の整備
	能載べ			P 143	中	事	業	防災行政無線	屋:	外子局整備	講事業	費		
事	業コ	_	۴	001-102-001-00910	事	業	名	防災行政無線	屋:	外子局整備	講事業	〔復興交	付金〕	
目的及	ኒび∄	事業	内容	平成30年度までに、 を中心に防災行政無約					子居	の整備((増設)	を実施し	ン、新市往	「地及び沿岸部
				防災行政無線屋外抗	は声子局の	の整値	莆 (均	曽設)を実施し	,t:	0				
				【設置箇所一覧】 施	設 等			设置 箇 所	<u></u>	ħ	も 設	等	設置	置箇所
				1 折浜字風越行	复興団地	空地	折	浜字風越	13	龍澤寺(避難場	所)入口	立浜写	2寺下
				2 荻浜支所			_	浜字白浜山	_	大浜集団			大浜写	
				3 渡波599開発			_	波字沖六勺	_	上大平集			_	字上大平
				4 サン・ファン		寸近	_	皮字祝田藤ヶ崎		小泊集団 鮫浦存入田	10 101			宝字小泊
				5 新運動公園(6 国道45号線日表		上中		境字外谷 田字東道下		寄磯浜集			園 鮫浦存	
				6 国道45号線日表 7 石巻広域水道			-	田字新上沼	_	新城洪集 鮎川浜集				長清崎山
				8 グリーンベル			_	田 <u>丁利工况</u> 町三丁目	_	谷川浜集				光ケ丘
取	組	宔	績	9 渡波保育所		央		くら町三丁目					小渕湯	
41	小口	~	小具	10 河北警察署	C/II/I			北警察署		十八成浜				浜十八成
				11 唐桑防災集	118年日1	また カルカ	唐		_	泊浜台集				
				12 船越集団移				来 越天王山	20	加六日末	12/12/12	E PEPTA	函 加州	·
				防災行政無線屋外抗	太声子局の	の整値			· 、	難聴地区の	の解消	が図られ	た。	
				区分				成果指標 -	Aut- "	_	達 F	成率等		
						標値			績等		~=-/			
			_	H26)基		17基		56. 7%		
成			果	H27)基		20基		100.0%		
				H 28)基		20基		100.0%		
				H 29 H 30)基]基		20基		100.0%		
成果	に係	そる 記	平価	平成30年度に23基6 聴地域の完全な解消 令和元年度は一般財 数、住民要望等を総名	は至って	ており	ン、親 うず、 て河南	市街地及び沿 令和元年度も ・桃生地区等	事	部の難聴は	する必	解消が図 要がある	0	況、受益者
														(単位:円)
						. Andre pho				;	決算額	の財源内	訳	
予算	の執	衍	犬況	予算額	Э 	・算額	1	国(県)支	出:	金地	方債	7	の他	一般財源
				93, 999, 960		93,	999, 9	060				75	, 199, 000	18, 800, 960

予	9 款	消防費	総	第	章				復	(1)	みんなで いまちづ	築く災害に強 くり	
算科	1 項	消防費	合計	第	節				興計	(1)	新たな防	災体制の構築	
目	6 目	東日本大震災関係費	画	()				画	(;	3)	防災対策	の見直し	
	⊌施計画 載ページ	P 144	中	事	業	地均	域防災力向上対	策費						
事	業コード	001-103-003-00296	事	業	名	自主	主防災組織機能	強化事	業〔彳	复興基	ま金 〕			
目的及	及び事業内容	自主防災組織の機能引の自主防災組織を強化す。③石巻市防災ニリーダーとなる人材を引の高揚を図る。	トるた∂ Ŀ養成≀	め、D 研修講	方災資 構座を	登機を開き	材・食糧備蓄等 講し、防災士の	の整備 資格取	構促進 ∇得を	を図る	ると。 する:	ともに、『 ことにより	が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	
		「石巻市自主防災組 行っており、各自主防! られた。 また、8月に石巻市防 2月には石巻市防災士 図られた。 補助実績	災土養	こ積極 成研	極的な 修講	ょ補! 座を	助金の活用につ ·開催し、新たI	いて、 こ62名	自主の防災	防災が	だよ ^り 誕生	り等を通し した。	じての周知が図	
		補助金種別		交值	付件	数	補助金額							
		防災資機材購入費補	助金		8	3件	868, 000	円						
		防災倉庫設置費補助	金			2件	2, 746, 000							
l _		食糧備蓄購入費補助	金)件	2, 846, 000							
取	組実績	防災訓練費補助金				3件	1, 066, 000							
		合計	98	3件	7, 526, 000	Н								
		防災士養成研修講座												
		実施日		- /-	• `	_	会場	_	受講者	_	合格	者数	委託料	
		H30年8月18日 (土)	~191	1 (E	1)	石	巻市防災センタ		62人			62人	2, 623, 840円	
		トリスティアリア 防災士スキルアップ	セミナ	一事:	结									
		実施日			194		会場 受講者数 委託料							
		H31年2月3日(日)	1			石岩	き市防災センタ	_		3人		62. 440円		
成	果	①自主防災会の組織化3・組織数については、2で233組織となった。 ②防災資機材の整備及3・防災資機材購入補助8計98件の補助金を交付し ③地域の防災リーダーと 8月18日、19日の二日	k 庁	区 備災組 材を	の推進庫設 庫設 戦の強 を育り	進を 置費 強化;	図るとともに防 補助12件、食り が図られた。	災訓 量備蓄	東の実 購入補	施を(動2(促す。)件、	防災訓練	補助58件、合	
<u> </u>		域のリーダーを育成した					NII - 14 '- ' '		<i></i>	- ra: ='	• عللد •		+- + 1/ ₂	
成果	に係る評価	①自主防災会の組織化については、本年度9件の増加となり、今後の復興事業により新たな自治会の結成等もあることから、組織化の推進を今まで以上に促進させる必要がある。 ②既存の自主防災組織の強化策については、特に防災訓練の参加率を向上させるため、補助金交付についての啓発啓蒙を図る必要がある。												
													(単位:円)	
		7.00.17	No data da E				決算額	領の則	才源内	引訳				
予算	の執行状況	予算額	5	 快算額	Į	ľ	国(県)支出金	地	力債		7	の他	一般財源	
		18, 708, 000		10, 4	412, 2	280					10	, 412, 280		

予	9	款	消防費	総	第	章			復	(1)	みんなで! いまちづ	築く災害に強 くり	
算 科	1	項	消防費	合計	第	節			興計	(1)	新たな防	災体制の構築	
目	6	目	東日本大震災関係費	画	()			画	(1)	防災施設	の整備	
	₹施計画 載ペー		P143	中	事	業	地域防災力向上対	策費						
事	業コー	۴	001-101-002-00284	事	業	名	災害用備蓄配備事業〔復興基金〕							
目的及	ひ事事		避難所開設時におけ き、非常用食糧及び非											
			石巻市災害時備蓄計 また、本庁及び各総 南境防災備蓄倉庫に 指定避難所等に配	合支所(発電機・	の粉: や投;	ミルク 光器等	を更新した。 の防災資機材を配			及び	非常	用飲料水を	更新した。	
			指を避無別寺に能	以以(数量				信	構考				
			非常用食糧				11,800食				.,,	-		
			非常用飲料水				11, 800 L	年次計	画に	基づ	く更	新分		
The	組実	/valor	粉ミルク				504箱							
			備品購入 資機 防災資機材一式	材			南境防災備蓄倉庫		備	持				
成		果		た避難者 犬況 成果 漂値 1,800食 蓄計画	指標	対し備 実績 ³ 11,	蓄品を支給できる 達成率 300食 100%	体制を	整え	、避	難所	開設時にお	ける初期運営	
成果	に係る	評価	平成28年度に改定し 切に行われた。 今後も市内で5万食の											
													(単位:円)	
						_		:	決算額	額の則	オ源[内訳		
予算	の執行	状況	予算額	Ħ	中算額	Ŕ	国(県)支出金	地	方債		2	その他	一般財源	

_														
予	9	款	消防費	第章		復								
算科	1	項	消防費	合 第 節		興 計								
目	6	目	東日本大震災関係費	画 ()		画								
	実施計画 載ペー			中事業防	5災センター建設₹	事業費								
事	業コー	۴			5災センター整備₹									
目的及	及び事業	《内容	本市の都市核拠点でお 災時に迅速に情報収集し図る機能を有する防災も	ン分析・対策の検討	付、同時に各関係									
取	組実	績	1 主な移設業務等 (1) 防災行政無線移設 (2) 災害対策本部オペレーションシステム構築業務 (3) 北上川下流河川監視カメラ移設 (4) 市町村震度計移設 (5) 什器備品等購入 参考 ソフト事業実績 (1) 供用開始 (H30.5.31) (2) こども防災サミット (H30.6.16) (3) 防災土養成講座 (H30.8.18-19) (4) 防災指導員意見交換会 (H30.10.5) (5) 防災士スキルアップセミナー (H31.2.3)											
			平成29年2月25日に着 日に供用開始。			平成30年3月	28日に引	渡完了、	平成30年5月31					
					5日に工事完了、 歩率 (%) 実績等		28日に引	渡完了、	平成30年5月31					
			日に供用開始。	事業の進	排率(%) 実績等			渡完了、	平成30年5月31					
			区分	事業の進 目標値	捗率(%) 実績等	達成図	率(%)	渡完了、	平成30年5月31					
成		果	日に供用開始。 区分 H26	事業の進 目標値 -	抄率(%) 実績等	達成至	率(%) -	渡完了、	平成30年5月31					
成		果	日に供用開始。 区分 H26 H27	事業の進 目標値 - -	技率(%) 実績等	達成 ² 0.8 13.2	率(%) - -	渡完了、	平成30年5月31					
成		果	日IC供用開始。 区分 — H26 H27 H28	事業の進 目標値 - - -	排率 (%) 実績等	達成 ² 0.8 13.2 26.5	率(%) - -	渡完了、	平成30年5月31					
成		果	日に供用開始。 区分	事業の進 目標値 - - 100.0 100.0	抄率 (%) 実績等 2 2 3 10 周辺整備事業とし	達成 ⁵ 0.8 13.2 26.5 34.0 00.0	率 (%) - - - 84.0 100.0 ていたた	め割愛し	<i>t</i> c。					
	に係る		日に供用開始。 区分 H26 H27 H28 H29 H30	事業の進 目標値 - - 100.0 100.0 H28までは石巻駅 段関連設備の移設。	接車(%) 実績等 2 2 10 周辺整備事業とし を完了し、平成30	達成 ⁵ 0.8 13.2 26.5 34.0 00.0 ,て取り扱っ 年5月31日に	率 (%) 84.0 100.0 ていたた。	め割愛し	た。 る。今後は災 5災教育)の充					
	に係る		日に供用開始。 区分 H26 H27 H28 H29 H30 ※目標値について、 当初の予定通り、防5 書時での活用だけでなる	事業の進 目標値 - - 100.0 100.0 H28までは石巻駅 段関連設備の移設。	接車(%) 実績等 2 2 10 周辺整備事業とし を完了し、平成30	達成 ³ 0.8 13.2 26.5 34.0 00.0 で取り扱っ で取り扱っ	を (%) 84.0 100.0 ていたた. 供用開始	め割愛し できてい ト事業(『S	た。 る。今後は災					
成果		評価	日に供用開始。 区分 H26 H27 H28 H29 H30 ※目標値について、 当初の予定通り、防5 書時での活用だけでなる	事業の進 目標値 - - 100.0 100.0 H28までは石巻駅 段関連設備の移設を 、平時は地域防ジ	接車(%) 実績等 2 2 10 周辺整備事業とし を完了し、平成30	達成 ³ 0.8 13.2 26.5 34.0 00.0 で取り扱っ で取り扱っ	率 (%) 84.0 100.0 ていたた。	め割愛し できてい ト事業(『S	た。 る。今後は災 5災教育)の充					
成果	に係るの執行	評価	日に供用開始。	事業の進 目標値 - - 100.0 100.0 H28までは石巻駅 段関連設備の移設。	接車(%) 実績等 2 2 10 周辺整備事業とし を完了し、平成30	達成 ³ 0.8 13.2 26.5 34.0 00.0 で取り扱っ で取り扱っ	を (%) 84.0 100.0 ていたた。 供用開始 k うソフト	め割愛し できてい ト事業(『S	た。 る。今後は災 5災教育)の充					

予	(9	款	消防費	総	第	章			復	(1)	みんなで いまちづ	築く災害に強 くり		
算 科	1	1	項	消防費	合計	第	節			興計	(1)	新たな防	災体制の構築		
目	(ô	目	東日本大震災関係費	画	()			画	(3)	防災対策	の見直し		
	₹施計 載ペ-		;	P144	中	事	業	地域防災力向上対	策費						
事	業コ-	- F	:	001-103-004-00298	事	業	名	誘導表示板設置事	反設置事業 〔復興交付金〕						
目的及	なび事	業	内容	災害発生時に、避難者 方針をまとめた「石巻市 細設計業務」で決定する	防災サ										
取;	組	実	績	平成26年度27年度に年度に年度に年度に年度に年度である。この方針観防では、1000年の一個では、1000年の一個では、1000年の一個では、1000年の一個では、1000年の一個では、1000年の一個では、1000年の一個では、1000年の一個では、1000年の一個では、1000年の一個では、1000年の一個では、1000年の一個では、1000年の一個では、1000年の一個では、1000年の一個では、1000年のでは、1000年	巻 平成成設約 の 成別の 成別の 成別の 成別の 大学 、 割りの おりまた 業 、 割りの おりまた まりまた まりまた まりまた まりまた まりまた まりまた まりまた	び 年度。務平	イン に いら に つ (31年	整備試行実験」を3 石巻市防災サイン3 成30年度の2か年で いて 3月29日に完成した	実施し、 実施計画 :設置位	. 防災	サインの して防災	実効性に	ついて検証し デザイン、設		
成		i	果	「石巻市防災サイン詳 優先順位の設定や具体的 推進が図られた。											
成果	に係る	る評	価	500本以上設置を予定。 置に向けた準備が図られ		Σ́ サ-	インの)効果的な設置箇所	の検討	を行り	い、住民記	说明会を通			
				T						決質を	の財源内	1記	(単位:円)		
予算	の執行	污状	況	予算額	Ħ	除算名	Ą	国(県)支出金		方債		の他	一般財源		
				20, 952, 000		20,	952, (-	, 761, 000	4, 191, 000		